

# 第1回反省研修会

田池先生が、1986年3月に依願退職され、念願だった反省を中心にした一泊の「反省研修会」がスタートしました。

第一回は、大阪府富田林市にある「富田林簡易保険保養センター」で、その年の5月6日(火)～5月7日(水)に開かれました。

編者である私も、この時、初めて一泊の研修会に参加させていただき、その時の模様を次のように記録しております。

私が初めて宿泊セミナーに参加したのは、田池先生とお会いして、半月ほど経った5月の反省研修会の時です。

ゴールデンウィークが終わってすぐの一泊研修会でしたので、休暇が取れるかどうか心配でしたが、それもこちらが気にしているだけのことで、こちらさえその気になりさえすれば、まわりの状況は自然とそれに合わせて動いてくれるようです。ゴールデンウィークを含め五連休になる訳ですが、



富田林簡易保険保養センター「かんぼの宿・富田林」

誰に反対されることもなく、また嫌味を言われることもなく、休暇中は仕事さえ遠慮してくれるかのように、何の問題も起こりませんでした。田池先生の言われるように、自分が神に向かって歩き出しさえすれば、邪魔しているように見えることも、向こうのほうから道を開けてくれるようです。

一番邪魔をしているのは、ほかならぬ

自分だったのかもしれない。

もちろん、その時は分かりませんでした。しかし、今思い返すと、その通りなのです。ちゃんとその通りになっているのです。進むも進まないも、周りが決めるのではなく、自分が決めるのです。周りが邪魔して進めないように見えても、結局は自分だったのだと思います。この原稿を書きながら、



各部屋に分かれて母親の反省

そのことをつくづくと感じさせていただいております。

話がだいぶ横道にそれてしまいました。さてこの日の反省研修会ですが、富田林にある簡易保険センターで行われました。初めての一泊研修ですので、幾分緊張しながら、一番前の席で時の来るのを待っておりました。会場は二十畳近い和室で、正面に田池先生の座る一人掛けのソファとテーブルが用意され、その席を囲むように座布団が敷かれてあります。やがて、田池先生が席に着かれ、皆が揃われるのを待って、まずは一泊二日のスケ

ジュールについて説明を始められました。

その後、先生の講話が二時間ほどあり、続いて反省の仕方についてお話しされ、いよいよ各部屋に別れて反省が始まります。

一部屋におよそ四、五人が入りました。ある人は窓際のソファを、ある人はテレビ台を机代わりにして、それぞれ自分の場所を決めて、ノートを開き、母親の反省を始めます。その日によって自分でテーマを決め、母親にしてもらったこと、母親を困らせたこと、母親にしてあげたことなど、母親について思い出せる限り書き出していくのです。先生はよく言われます。

「母親を見るのではありません。母親に接している時の自分を見ていくのです。どんな心でお母さんを見ていたのか、その心を見ていくのです」と。

反省は三回にわたって行われました。一回目が3時半頃から5時頃まで、二回目は夕食が終わって7時頃から9時頃まで、そして質疑応答の時間があり、翌朝、朝食後8時半から10時までが三回目の反省で

#### 反省研修の日程

月 日 ( )	
12:20 ~ 12:30	研修の案内
12:30 ~ 14:00	正法の講話1 苦難は悟りへの試練である
14:10 ~ 14:50	正法の講話2 反省の意義とその仕方
15:00 ~ 17:00	( ) について反省する
18:00 ~	夕食 ※ 入浴は随時、但し17:00 ~ 19:00
19:00 ~ 21:00	( ) について反省する
21:10 ~ 22:00	質疑応答
22:00 ~	自由時間・就寝
月 日 ( )	
~ 7:30	起床・自由時間・朝食
8:30 ~ 9:50	( ) について反省する
10:00 ~ 11:00	正法の講話3 天姿地異と神の愛
11:10 ~ 12:30	祈り、反省研修に参加して(感想)

す。その後、田池先生のお話があり、今回の反省研修会のまとめとなります。

こうして一泊二日の反省研修会は終わる訳ですが、この間、現象による学習も、質疑応答の時間や田池先生のお話の中で行われ、様々な方法で自分を見ていく機会が与えられました。(『光のなかへ』)